

大和郡山 防災ニュース 30. 3月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

要支援者名簿登録の皆さんへ ～いざ災害に備えて～

要支援者という言葉、ご存じですか？正式には「災害時避難行動要支援者」と言いまして、災害発生時において、お一人で避難することが困難で特に支援を要する方のことで、災害対策基本法では、このような方の名簿を作成することが規定されています。

～市内で約13000名が対象～

本市においては、70歳以上の高齢者のみの世帯、要介護3以上の方、身体障害者手帳1～2級の方、知的障害者（療育手帳A）の方、を対象としており、市内に約13000名いらっしゃいます。

昨年7月、これらの方々に情報提供の同意について、郵便でお尋ねしたところ、2300名の方が平常時からの情報提供に同意され、この3月末～4月初旬に地域の支援者（民生委員、消防団、社会福祉協議会、警察署、消防署、市と協定を結んでいる自主防災組織）に名簿を配布することになりました。これによって、以前からの同意者1900名を合わせて、4200名の方の情報を地域の支援者へ提供できることとなります。

～日頃からのつながりが地域の助け合いを生みます！～

要支援者名簿が地域の支援者に配布されたら、これで「災害が起きても安心！」というわけではありません。情報提供していない要支援者に比べて、支援を受ける可能性は高まるものの、必ず支援が受けられるものではないのです。消防団や警察署、消防署は専門の知識や機材なども備えていますが、大きな災害ではなかなか一人一人の支援まで行き届くわけではありません。

では、どうすれば、災害時に支援を受けられる可能性がより高まるのでしょうか？いざ災害時に、要支援者の救出に最も力を発揮できるのは、いうまでもなく、地域の住民の皆さんの助け合いの力です。自治会などでは防災のみならず地域の様々な問題に取り組んでおられます。支援者の方も要支援者の方も、日頃から地域のコミュニティの中で、できる役割をもって参加していく相互関係を築くことが大事だと思います。まずは、近隣との会話から始めていただけたらいかがでしょうか！

～支援者が足りないー地域の力に期待！～

現在、市内318自治会のうち、自主防災組織を結成されているのは、214の自治会に留まります。地域の高齢化が進み、特に規模の小さな自治会では役員を引き受ける方がいないなどで、防災はおろか自治会活動も思うに任せないという地域もたくさんございます。そのようなこともあり、市と協定を結んで要支援者名簿を常備していただいているのは、わずか8組織に留まります。自治会へのアンケート結果（下記参照）によると、約半分の自治会が要支援者名簿を引き受けることは困難だと回答しています。

○自治会意向アンケート結果（回答数217自治会）
避難行動要支援者名簿の活用についての考え方

協定締結 もしくは締結を考 えている	経済 締結を考 えている	名簿は自治会 で作成する ので不要	個人情報管理など難 しく活用の予定無し	自治会内に 要支援者を 助けに行く 人が少なく 採用は無理	その他回答無
21%	8%	29%	18%	24%	

市としては、今後も地域の自主防災力の向上のため、組織の結成を働きかけ、また『自主防災組織と消防団』防災のつどいなどの機会において、地域の要支援者対策を一步ずつ進めていき、名簿を受け取っていただくよう努めてまいります。自治会や自主防災組織役員の皆さんには、よろしく願います。また、要支援者の皆さんにおかれても、地域や要支援者同士のコミュニケーションを深めながら、現場・要支援者からの防災意識の向上を図っていただきますようお願いいたします。

～防災一口メモ(3)～

○地震が起きた時の対応はどうすればいいの？

☆細かな揺れを感じたら迷わず反応してください！

地震は、まず細かなたて揺れ（P波）の後、大きなよこ揺れ（S波）がやって来ます。P波は10数秒続くこともありますので、P波のうちには身を守る行動を取ってください。

☆緊急地震速報が出た時も反応して！

気象庁のJ-ALERTによる緊急速報メールやテレビラジオの緊急地震速報が出た時も同じです！

○では、どんな行動を取るのですか？

①まず、目の前の火を消すこと！

②テーブル・机・ベッドの下などに潜り込む

③クッション等、なければ手のひらを後頭部に付けて、頭部を保護

☆火から離れていて消す余裕がなかった場合は、一旦揺れが収まってから、皆で協力して調理器具・暖房器具の火を消します

※地震の際に、命の次の優先事項は、火事を防ぐことです。火が出た時には「火事だ！」と隣近所にも助けを求めましょう。

※7月9日は約160年前、奈良県に大被害をもたらした伊賀上野地震を記憶に留めるため、奈良県防災の日に定められ、当日10時30分に地震を想定したシェイクアウトという自主訓練がございます。スマホの方は地震防災訓練アプリを取得すると訓練の時刻にエリアメール着信音を鳴らす設定もできますので、ぜひご活用ください。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース 検索

↑

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！

大和郡山市消防団へようこそ 検索

↑

発行人 市役所市民安全課